

しらゆり

地域とともに歩むしらゆり会 [広報誌]





しらゆり

2015 October

CONTENTS 〈目次〉

7 6 5 4 3 2

理事長挨拶

しらゆり第31号発刊に寄せて

法人基本方針

平成27年度運営方針

しらゆり会役員等名簿

創立49周年記念式典

(新規採用職員・永年勤続者表彰)

平成26年度寄付・寄贈、入札結果

平成26年度苦情処理状況

平成26年度決算報告

特集 泉の園

開園40周年記念式典

(小谷施設長を偲んで)

22 8

施設の活動報告

救護施設 泉の園

障がい者支援施設 希望の園

共同生活援助事業 互助の館

就労継続支援A型事業 ワークセンター島根

障がい者支援施設 光洋の里

相談支援事業所 ねくすと

生活介護事業 ささなみ

軽費老人ホーム ケアハウス 夢楽の郷

特別養護老人ホーム 詔光の里

特別養護老人ホーム いやしの館

老人デイサービス事業 きらめき

老人・障がい者ホームヘルプサービス事業 ねぎらい

訪問看護ステーション 暖心

居宅介護支援事業所 ナイス

児童福祉施設 しらゆり保育園

児童福祉施設 しらゆり第2保育園

児童福祉施設 しらゆり第3保育園

児童福祉施設 しらゆり千鳥保育園

視察研修旅行記



しらゆり第31号 発刊に寄せて

社会福祉法人しらゆり会

理事長 国頭 正治

天候不順により春先の冷え込みや、梅雨時期の局地的豪雨による災害。さらに箱根山の大涌谷や口永良部島などの火山性地震、噴火の多発など、思いもよらぬ出来事の多い中、福祉業界においては、今年度は各事業報酬減額改定に大きく揺れたスタートでした。先の消費税8%への増税に経費削減を余儀なくされ、円安による輸入原料の価格上昇から各企業の商品値上げや、天候不順による品薄状況の生鮮食料の価格高騰に苦慮し、続く基本報酬減額に厳しい運営を強いられ苦しむ事業所も多く、また、人材確保も儘ならず、事業の縮小や新規開園の延期など影響を引きずる事業所もありました。そのような中で財政制度

等審議会での「財政健全化計画等に関する建議」のとりまとめによると、財政健全化での歳出削減に向け、次期介護保険制度改革において、診療報酬・介護報酬は全体的にサービス単価抑制によりマイナスとする必要があるとしてあります。更なる消費税の引き上げも予定されており、今後、事業者は度重なる厳しさに晒されることとなります。また、一般企業の雇用拡大は少子高齢化に於いて労働人口減少の歯止めが利かない状態では、さらに福

社従事者の人材確保が難しくなり、報酬減額は費用負担増を含め、事業継続に赤信号が点滅する状態を引き起こします。さらに、社会保障審議会の報告書をもとに、国会に社会福祉法改正案が提出されました。国の聖域なき改革の渦の中で、危機意識が希薄な社会福祉法人が取り込まれてしましました。すでに、この兆しは介護保険が導入され、福祉サービス事業を民間に開放し、市場原理を導入した時点で路線は敷かれていたと思います。一部の偏った考え方による特別養護老人ホームの内部留保の件が大きく報道され、社会福祉法人改革に拍車をかける結果となりました。福祉の原点が大きく崩れていくのか、新しい福祉像を創造できるかは、今後の社会福祉に携わる我々の大きな課題となりました。このような転換期に当たり、これをチャンスとして羽ばたけるか、時間との戦いとなります。

私どもも福祉事業を継続し、新しい時代に即していくために、しらゆり会に大きな根と幹に育てる養分を十分に与えることができるよう、ご理解とご支援を賜りながら皆様と共に頑張っ

て歩んでいきたいと考えております。

法人の基本方針

社会福祉法人しらゆり会は、利用者の皆様へ、そして地域福祉充実のため次の五つの目標を掲げ、しらゆり会の施設やサービスを利用して良かったと言っていただけのように、役職員一丸となって利用者の皆様へのサービス提供に努めます。

一・人権の尊重

(利用者の基本的人権の尊重)

二・良質なサービスの提供

(安全・安心・快適なサービスの提供)

三・信頼性の確保

(苦情の申し出に対する親切的対応)

四・地域福祉への貢献

(地域の皆様へ社会福祉事業への理解促進及び知識普及)

五・法令遵守

(法令の遵守による適切な運営と透明性の確保)

平成27年度 法人の運営方針

社会福祉法人しらゆり会は、高い公共性と倫理性を旨とし、利用者はもとより地域社会における福祉の充実に貢献するため、役職員一丸となって地域に頼られる法人運営に努めてまいります。

重点目標

一・社会福祉法人制度 改革への対応

平成26年度に提起された社会福祉法人制度改革について、今後の関係法令等の改正に伴い種々の事柄について透明性の確保、経営組織の改善地域における公益的な取組みについて実践してまいります。

二・虐待防止

全国各地で利用者の虐待が報じられている中で、当法人においては絶対起こさないよう一層職員研修等を行ってまいります。

三・しらゆり保育園移転改築事業

平成27年度園舎改築完成に向け、関係機関と連絡を密にし着実な事業執行に努めます。

四・福祉人材確保

景気好転により福祉人材の確保が一層困難な状況にある中で、将来のサービス向上・維持のため人材確保が急務であるため、引き続き労働条件の改善等による魅力ある職場造りに努めてまいります。

五・健全な財政運営

介護報酬等の引き下げにより厳しい運営を余儀なくされていますが、将来への継続的維持発展のため、一層健全な運営に努めてまいります。

しらゆり会役員・評議員名簿

平成27年3月8日から2年間の任期で、しらゆり会役員及び評議員の方々下記のとおり選任されました。

職	氏名	現在の職業及び公職
理事 評議員	国頭 正治	理事長 泉の園・希望の園・ワークセンター鳥根施設長
	国頭 正久	統括事務局事務局長 夢楽の郷・詔光の里施設長
	比良 幸男	松江市議会議員
	小林 良二	社会保険労務士
	北川 泉	鳥根県老人クラブ連合会評議員 (元鳥根大学学長)
	須谷 留	(元松江市民生児童委員協議会事務局長)
	恩田 要	松江市福祉推進委員(元シンセイ技研㈱代表取締役)
	森 晴美	(元本会施設長)
	錦織 暁	(元栄徳商事㈱常務取締役)

職	氏名	現在の職業及び公職
評議員	三島 進	松江市議会議員、(有)三島運輸役員
	瀬崎 淳一	(有)ベリーショップ専務取締役
	山本 寿子	松江市社会教育委員
	上田 恭己	松江栄養調理製菓専門学校校長
	石田 正美	希望の園保護者会会長
	花田 範久	山陰中央新報社論説委員
	中島 修	(元社会福祉事業団職員)
	金築 宏	鳥根銀行審査管理グループ部長
	池田 由美子	しらゆり千鳥保育園施設長
監事	竹田 純子	(元本会施設長) 平成27年5月22日就任
	廣瀬 芳徳	(前栄徳商事㈱代表取締役)
	柳原 知朗	(元松江市職員)

訃報の お知らせ

しらゆり会評議員の赤木俊明氏が、平成27年4月18日にご逝去されました。平成17年より評議員としてしらゆり会運営に多大なる貢献をされました。また、救護施設泉の園施設長の小谷彰也氏が、平成27年5月4日に急逝されました。ここにお知らせするとともに、両氏のご冥福を慎んでお祈り申し上げます。

社会福祉法人しらゆり会 創立49周年記念式典



理事長あいさつ

本会創立49周年記念式典が、平成27年4月10日ホテル穴道湖で開催されました。

当日は、理事、監事を含む役員約100名が集い、永年勤続表彰、新規採用職員紹介等が行われ、記念講演にはキャリアコンサルタント セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント防止コンサルタント 越野由美子氏をお招きしました。

また、平成27年3月31日付けで退職された元しらゆり保育園施設長 竹田純子氏、元しらゆり第2保育園施設長 安井美恵子氏への感謝状贈呈も行なわれました。



感謝状贈呈
記念講演(越野講師)



■新規採用職員

施設名	職名	氏名	採用年月日
しらゆり第3保育園	施設長	藤井 康夫	平成27年4月1日
泉の園	介護職員	谷口 智哉	〃
希望の園	支援員	亀山 玲子	〃
希望の園	支援員	瀬尾 明人	〃
光洋の里	看護師	藤原 恵	平成27年1月1日
さざなみ	支援員	高本 恵美	平成27年4月1日

施設名	職名	氏名	採用年月日
詔光の里	介護職員	松林 由樹	平成27年4月1日
詔光の里	調理員	日野 涼子	〃
いやしの館	介護職員	吉川 靖晃	〃
しらゆり 保育園	保育士	谷岡 詩織	〃
	保育士	田儀 知夏	〃
	保育士	福島 真子	〃
	保育士	太田美香子	〃
しらゆり 第2保育園	保育士	陶山麻紀子	〃
	保育士	都田 智保	〃
	保育士	勝部 華奈	〃
しらゆり 第3保育園	保育士	藤野 太一	〃
	保育士	岩成亜紗美	〃
しらゆり 千鳥保育園	保育士	石橋 周	〃
	保育士	三代 大樹	〃
	保育士	綾野 麻衣	〃



新規採用職員

■永年勤続者表彰

今年度は永年勤続20年に4名、10年に3名の方が受賞されました。心よりお喜び申し上げます。

20年を迎えられる方は海外、10年を迎えられる方は国内の職員特別研修視察を受けられます。

■永年勤続表彰者

年数	施設名	職名	氏名	採用年月日
20年	しらゆり第2保育園	課長	恩田 由美	平成7年4月1日
	詔光の里	主任	岩田 洋子	平成4年4月1日
	ワークセンター島根	支援員	和田 栄治	平成6年6月1日
	ナイス	介護支援専門員	小林 絵里子	平成7年4月1日
10年	しらゆり第3保育園	課長	野口 あき子	平成17年4月1日
	詔光の里	看護師	森本 千恵	平成16年5月1日
	しらゆり千鳥保育園	保育士	角 優香	平成17年4月1日



永年勤続(20年)



永年勤続(10年)

平成26年度 寄付・寄贈

平成26年度も多くの方々から
善意の御寄付をいただきました。

寄付者(敬称略)	施設	寄付物品
森 義郎	光洋の里	寄付金
希望の園保護者会	希望の園	寄付物品
境港歌吉愛好会	光洋の里	寄付金
しらゆり千鳥保育園保護者会	しらゆり千鳥保育園	寄付物品
しらゆり第2保育園保護者会	しらゆり第2保育園	寄付物品
しらゆり第3保育園保護者会	しらゆり第3保育園	寄付物品
しらゆり保育園保護者会	しらゆり保育園	寄付物品
西尾清春	泉の園	寄付物品

(掲載対象期間 平成26年4月1日～平成27年3月31日)

最近の入札結果

平成26年9月以降の大規模工事にかかるとおりです。

①入札事業名：いやしの館 原子力災害対策施設整備事業

(指名競争入札)

1. 入札場所：松江市山代町
934-5 詔光の里 研修室
2. 入札年月日：平成26年9月25日
3. 入札参加者：(株)中電工 島根統括支社・シンセイ技研(株)・島根電工(株)松江営業所・山陰クボタ水道用材(株)・アクアシステム(株)・(株)太陽水道工事・山陰温調工業(株)・カナツ技建工業(株)
4. 入札結果：落札業者 シンセイ技研(株)
落札額 122,904,000円
(消費税及び地方消費税込み)
5. 契約年月日：平成26年9月29日

②入札事業名：光洋の里 放射線防護対策工事(指名競争入札)

1. 入札場所：境港市渡町
2480 光洋の里 会議室
2. 入札年月日：平成26年11月4日
3. 入札参加者：美保テクノス(株)・(株)平田組・大松建設(株)・(有)松本組・(株)金田工務店・(株)岩崎組・(株)リンクス・(株)フイデア・境港土建(株)・(株)竹田工務店・(株)大脇組
4. 入札結果：落札業者 美保テクノス(株)
落札額 139,320,000円
(消費税及び地方消費税込み)

③入札事業名：泉の園 非常用発電機更新工事(指名競争入札)

1. 入札場所：松江市山代町
934-5 詔光の里 研修室
2. 入札年月日：平成27年6月17日
3. 入札参加者：島根電工(株)・三和電工(株)・サンベ電気(株)・(株)日新電工・一畑住設備(株)
4. 入札結果：落札業者 (株)日新電工
落札額 4,536,000円
(消費税及び地方消費税込み)
5. 契約年月日：平成27年6月18日

④入札事業名：詔光の里 非常用照明取替工事(指名競争入札)

1. 入札場所：松江市山代町
934-5 詔光の里 研修室
2. 入札年月日：平成27年6月17日
3. 入札参加者：島根電工(株)・三和電工(株)・サンベ電気(株)・(株)日新電工・一畑住設備(株)
4. 入札結果：落札業者 島根電工(株)
落札額 3,110,400円
(消費税及び地方消費税込み)
5. 契約年月日：平成27年6月18日

⑤入札事業名：夢楽の郷 新館居室 エアコン更新工事(指名競争入札)

1. 入札場所：松江市山代町
934-5 詔光の里 研修室
2. 入札年月日：平成27年6月17日
3. 入札参加者：島根電工(株)・シンセイ技研(株)・山陰クボタ水道用材(株)・新和設備工業(株)

4. 入札結果：山陰酸素エンジニアリング(株)
落札業者 シンセイ技研(株)
落札額 5,184,400円
(消費税及び地方消費税込み)
5. 契約年月日：平成27年6月18日

⑥入札事業名：希望の園 ロール アイロナー更新事業(指名競争入札)

1. 入札場所：松江市山代町
934-5 詔光の里 研修室
2. 入札年月日：平成27年6月17日
3. 入札参加者：ワタキューセイモア(株)中国支店米子営業所・(有)秀明堂本店
4. 入札結果：落札業者 (有)秀明堂本店
落札額 23,652,000円
(消費税及び地方消費税込み)
5. 契約年月日：平成27年6月18日

苦情の状況 (平成26年度)

苦情受付総数22件のうち15件が職員に関する苦情でした。具体的な内容としては、直接処遇をさせていたかどうかで利用者との意思疎通が不十分だった場面、また、公用車の駐車方法が不適切だった場面が見受けられました。その他は、利用者に関する苦情が3件、制度を含めたサービス内容に関する苦情等が4件ありました。

これらへの対応としては、すぐに改善できることは改善し、その他についても一つひとつ丁寧に話を伺ったうえで解決して参りました。

今後の対応としては、苦情の申し出に対して丁寧に話を伺い、利用者の抱く疑問や不安を早い段階で把握し、サービスの改善につなげていくこととされています。

平成26年度決算状況

平成26年度決算状況

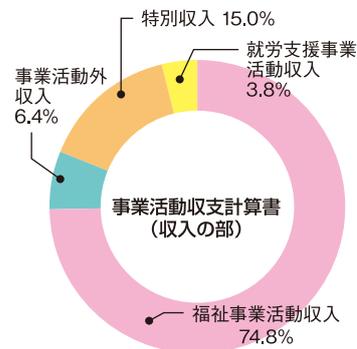
(社会福祉法人しらゆり会)

貸借対照表

(平成27年3月31日現在)

(単位:円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
流動資産	1,249,629,021	流動負債	589,063,901
固定資産	5,017,034,007	固定負債	283,459,539
		基本金	941,339,123
		国庫補助金等特別積立金	1,341,112,281
		その他の積立金	916,100,000
		次期繰越活動収支差額	2,195,588,184
資産合計	6,266,663,028	負債・純資産合計	6,266,663,028

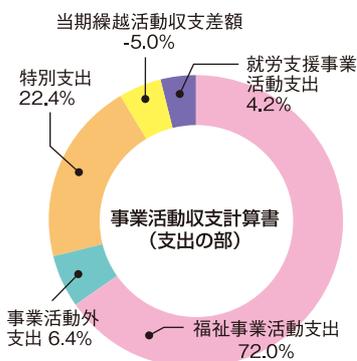


事業活動収支計算書

(自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)

(単位:円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
就労支援事業活動支出	126,999,364	就労支援事業活動収入	114,116,191
福祉事業活動支出	2,187,152,420	福祉事業活動収入	2,270,523,587
事業活動外支出	194,352,328	事業活動外収入	194,668,892
特別支出	680,312,759	特別収入	457,595,416
当期繰越活動収支差額	△151,912,785		
合計	3,036,904,086	合計	3,036,904,086

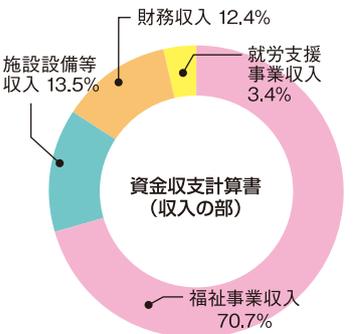


資金収支計算書

(自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)

(単位:円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
就労支援事業支出	124,250,018	就労支援事業収入	114,116,191
福祉事業支出	2,161,893,943	福祉事業収入	2,376,297,977
施設整備等支出	855,827,461	施設整備等収入	452,565,620
財務支出	303,051,217	財務収入	419,201,752
当期資金収支差額	△82,841,099		
合計	3,362,181,540	合計	3,362,181,540



(注)しらゆり会では監事による監査のほか、外部監査を公認会計士山川博司氏に委嘱し透明性の確保に努めています。

平成26年度 施設整備事業

1.修繕関係

- 駐車場舗装等工事 (泉の園)
- 西側便所改修工事 (泉の園)
- 2階バルコニー床防水工事 (泉の園)
- 3階バルコニー床他改修工事 (泉の園)
- 給水管更新工事 (光洋の里)
- 駐車場整備(外灯・舗装) (光洋の里)
- 原子力災害対策(機械・装置他) (光洋の里)
- 原子力災害対策(機械・装置他) (いやしの館)
- 擁壁工事 (希望の園)

2.備品関係

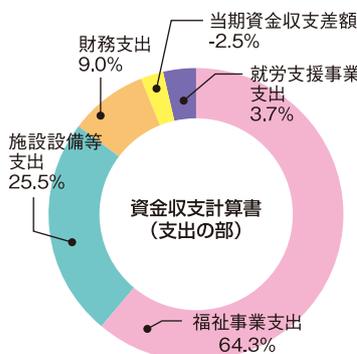
- 物置更新 (光洋の里)
- 送迎福祉車輛更新 (さざなみ)
- 食器洗浄機更新 (しらゆり千鳥保育園)
- 送迎車輛更新 (希望の園)
- 製パン用ミキサー更新 (希望の園)

4.その他の固定資産取得

- 原子力災害対策 (光洋の里)
- 原子力災害対策 (いやしの館)
- 園舎移転新築工事移転先地取得 (しらゆり保育園)
- 園舎移転新築工事 (しらゆり保育園)

3.基本財産取得

- 駐車場車庫 (光洋の里)
- 園舎改築工事 (希望の園)



平成26年度事業にかかる事業報告書・財産目録・貸借対照表・収支計算書及び監事の意見書についての情報は、統括事務局にて閲覧が可能となっておりますので遠慮なくお申し出ください。

(統括事務局電話番号：0852-21-0789)

泉の園

開園40周年

「救護施設泉の園」は、鳥根県の救護施設第1号として開所以来、皆さまに支えられ40周年を迎えることが出来ました。これを記念して平成27年4月15日(火)に矢田町体育館にて、比良、三島両市議会議員様をはじめとして、行政関係、地域の方々など多数の来賓の方をお迎えし、記念式典が盛大に行なわれました。

記念式典では、長年にわたり泉の園にひとかたならぬご協力を頂きました4団体の方々に感謝状を贈呈し感謝の意を表しました。

また、泉の園を退所された方、社会自立された2名の方に社会自立賞を贈呈しその努力を称えました。



そのほか、昨年度、生活、日課などの各分野にて努力された利用者の方の表彰と、長寿の方のお祝いも贈呈されました。

式典開催にあたり、各方面より多数の祝詞並びにお祝いを頂きありがとうございました。皆様に祝福され、また激励され今後更に10年後の節目へと切磋琢磨し、地域に根ざした施設となるよう努力をしていく所存であります。今後も、皆様方の暖かいご支援とご協力をお願い致します。

小谷施設長を偲んで

「物事はすべて段取りで決まる」行事のあるごとの口癖がこの言葉でした。何事も段取りがきちんとしていなければ、うまくはいかない。その言葉通りいつも何歩も先を見て、日々業務をこなされる姿は今も瞼の裏に残っています。

時には厳しく、時にはやさしく、利用者や職員に接しられ、その姿は深い愛情を感じると共に、安心感を与えて下さいました。私達職員が業務をする中で心の

支えとなり、日々の利用者支援、園の行事を安心して行なえる事が出来たのは、小谷施設長のお陰だと思っています。

園の外に目を向けると、地区の皆様や、行政の方、中国四国地区救護施設協議会会長として、中国四国地区の施設長様だけでなく、全国理事の方とも交流を深められ、泉の園や救護施設の発展に熱い思いを注いで来られました。

残された私達職員は、泉の園や救護施設に掛ける小谷施設長の思いを汲み取り、救護施設の大きな役割である生活困窮者の方の最後の砦としての努めを、職員一丸となり受け継いでいかななくてはならないと思っています。そして、安心、安全に、利用者の方おひとりおひとりの自立を支援していくことが恩返しだと思っています。



こんなことを行いました!

施設の活動報告

社会福祉法人しらゆり会では様々な取り組みを行っています。
今回も、各施設からの声をお届けします。

救護施設 泉の園

遠足 〜境港周遊へ〜

去る5月28日(木)泉の園の遠足がありました。2班に分かれ、大型バス2台と公用車2台で境港方面へ行きました。当日は、晴れていましたが気温は涼しいくらいで、利用者の方にとっては良い遠足日和となりました。

利用者の方の体調により、1班2班に分かれて班編成され、1班は、施設見学として航空自衛隊美保基地、大漁市場「なかうら」での昼食、水木しげるロードの散策の行程、2班の方は、ゆとりを持って時間を遅らせて出発し、昼食会場で1班と合流しその後一緒に行動しました。



全員集合!

1班の美保基地見学では、初めに資料館で基地の案内のDVDを観て質疑応答があり、利用者の方より色々質問が出ました。その後資料館の中を見学したり、屋外に展示してある飛行機などを見たりし、戦闘機の前で全員揃って記念撮影をしました。その後、バスに乗り、滑走路近くまで移動し、駐機場に停まっている輸送機を見ながら基地の方より説明を受けました。残念ながら飛行機が飛ぶところは見られませんでした。バスの中から大型の輸送機を真近に見る事が出来大変喜ばれました。その後輸送機を見ながら食事会場の「なかうら」へ進んで行きました。

食事会場の「なかうら」では2班と合流し、共にうなぎ定食を楽しみました。「うなぎが柔らかかった」「おいしい味付けだった」「茶碗蒸しが美味しかった」

近年利用者の方も高齢になられ、遠足に行く方も少なくなっています。また、遠方へ出かける事が少ないので、毎年の遠足を楽しみにしておられます。皆さんが少しでも外気に触れ、心穏やかに過ごして頂けるよう、今後も続けていきたいと思えます。



食事の後は、水木しげるロードへ行き、妖怪のブロンズ像の前で写真を撮ったり、お土産を買ったり、喫茶店でのんびり話をしたりと、それぞれ、思い思いの時間を楽しみました。歩いて、暑くなったのか皆さんアイスクリーム売り場の前で行列を作っていました。さぞ、美味しく食べられた事でしょう。そして、目当ての買い物をして帰路につきました。

一泊旅行を復活しました

平成22年度の東京旅行を最後に一泊旅行は中止になりました。大きな要因として知的障がい者支援施設から①生活介護支援事業②就労継続B型支援事業③就労移行支援事業へ体系が大きく変わっていき、ということからでした。

そのために
1. 事業が3つに分かれたため、職員がそれぞれの事業に分断され、職員のまとまった動きが取りにくくなる。
2. 就労系は工賃向上や他の事業所に施設外実習として受け入れてもらうため、2日間連続して作業を中止することは難しい。
3. 生活介護系は障がいの重症化・高齢化に伴いマンツーマンの支援が必要となってくる。

等の問題が発生するというところで、23年度からは一泊旅行ではなく、日帰り遠足という

形で利用者の皆さんの要望にお応えすることになりました。

しかし、一泊旅行の思い入れは利用者に根強くあり、個別支援計画の聞き取りや、利用者の集会時に要望としてあがってきました。そこで昨年度、利用者全員に一泊旅行に対する意識調査を行ったところ表1の結果となり、約2/3の人員が一泊旅行を望んでおられることがわかりました。

平成27年2月実施 (表1)

日帰り遠足	一泊(近く)	一泊(遠く)	回答なし
28名	21名	25名	9名

同時に松江市他の事業所からも聞き取りをし、実態調査も行いました。確かに一泊旅行を実施している事業所は少なく、日帰り遠足や実施していないところが多かったです。考え方も様々で実施する理由、実施しない理由も伺い

ました。

それらの情報をもとに希望の園で検討し、出した結論は「一泊旅行の復活」でした。確かにリスクは多いけれど、利用者のニーズは尊重していきたい。魅力ある事業所とし「選ばれる事業所」にしたいという思いからの結論でした。

実施するに当たりできるだけリスクを取り除きたいということ、

- ・実際に参加することを前提にアンケートを取り「日帰り」「一泊旅行」に分ける。
- ・時期は各事業の都合に実施する。

というように小グループ化とし、平成27年度は表2のように3グループで実施することになりました。

(表2)

	時期	人数
一泊旅行 (生活介護)	5/27~5/28	17名
日帰り遠足 (共通)	6/10	36名
一泊旅行 (就労系)	2/17~2/18	11名

先日、一泊旅行と日帰り旅行を実施しました。今までとは違った少人数での行動でしたが、参加した人それぞれ「良かった」「楽しかった。」と言っていただけでした。今年度すべて実施したうえで総括を行い、来年度以降も続けていければと思います。



皆生温泉旅館「つるや」にて
～夕食風景～



島根ワイナリー駐車場にて～「ハイ!チーズ!!」～

ビアガーデンで楽しみました。

平成26年9月8日(月)ニューアーバンホテルの屋上で行いました。

ホテルの送迎用バスに乗って行きました。到着するとすぐに食事をされる方がほとんどで、みなさん待ち遠しかったです。



楽しいです!



ビールがおいしいです!

仲の良い利用者さん同士で会話をされる方、全く話したことがない利用者さんと会話をされる方、一生懸命に食べられる方、みなさん時間を忘れて楽しみました。

利用者さんから「とても楽しかった」「来年もしたい」「お腹がいっぱいになった」などの声を聞くことができて、とても有意義な時間が過ごせました。

ボウリング大会に参加しました。

平成27年5月31日(日)第16回障がい者スポーツ大会に参加しました。去年は開催地が出雲市のために参加できなかったボウリング大会が、今年はしんじ湖ボウリングで行われるため参加する事が出来ました。前回に比べて参加人数は少なくなりましたが、今回から



頑張りました!

は新たなメンバーが加わりこれまで以上に盛り上がりました。1ゲーム目は不調でも2ゲーム目には倍以上のスコアを出すというミラクルを起こす利用者さんや終始安定したスコアを出す利用者さんもおられ、今年度も好成績を収めることが出来た利用者さんもおられ、賞状をもらうことも出来ました。

利用者さんの中には、「5回連続でストライクが出た。」

「なかなか調子が出なかったけど後半頑張った」

「9本だけ倒れることが多く、9本と10本の差は大きい」と一喜一憂される声があり、みなさん楽しみながら頑張りました。

《成績》

- 個人戦
 - 個人戦
 - 個人戦
 - 個人戦
- 少年男子 第2位 1名
 青年男子 第3位 1名

1年を振り返って

私がワークセンター島根に入社して、早くも1年が経ちました。入社当初は、初めての就職、また私自身、技術者として入社したため、障がい者の方々への対応の仕方について知識が不足していることもあり、経験不足、知識不足を不安に思いながら仕事に努めていました。

しかしこの一年間、利用者の方々と共に働き、話をする機会も増え、コミュニケーションの経験を得ることができたと感じております。また、利用者の方から話しかけて頂いた事や、ありがたい言葉を受けて頂いた事などが仕事へのやる気に繋がり、励みとなりました。



製品を検品中



運転を練習中

ました。

指導して頂いている先輩方にも利用者の方々への対応の仕方についての質問、機械のトラブルに対する対処法や製品管理の仕方などの機械・生産に関する質問に対して、熱心に教えて頂き、「質問をしてよかった。」と、強く感じる事ができます。一年経った今でも、自分が感じた疑問に対して、考え込まないで質問することを心掛けております。

その他にもキャリアアップ研修等の研修にも参加させていただき、福祉業務に従事する上での心構えや気を付けるべき点等を学びました。また研修に参加されている方々か

ら、利用者の方に違う薬を渡しそうになったため、薬のラベルに利用者の方の名前を書くようにした等の実際に起こった問題とその改善方法について話を聞くことができ、自分の職場ではどうだったかと考えることができました。

これらのことから、この一年間で様々な経験を積ませていただき、経験不足、知識不足を多少なりとも補い、入社当初に比べ抱いていた不安も減ってきたと感じております。今後も多くの問題に直面していくだろうとは思いますが、日々精進していきたいと考えております。

坂根 克則

島根原発放射能漏出事故に備えて — 避難訓練風景 —

原子力発電が未来のエネルギーとして脚光を浴び、私たちの前に登場してからすでに半世紀以上の年月が経ちました。あの日、2011年3月11日のあの災害がなければ、増え続ける電力消費に对应、安全神話にそれほどの疑問を感じることもなかったかもしれません。しかし、あの日を目撃してしまった私たちは、原子力の真の恐ろしさに身震いし、このままでは安全な未来など手に入れることはできないと知りました。

原発から20km圏内に位置する「光洋の里」も、もし島根原発で重大な事故が発生し、放射能が漏れ出たというようなことがあれば、所謂、UPZ圏内として避難区域に指定されてしまいます。障害支援区分6（最重度）と認定された障害者の方が、施設定員の75%を超える「光洋の里」にとっては、避難と言ってもそ

う簡単なことではありません。70名の利用者と職員が安全な場所に移動できるまでには、様々な準備が必要になり、それに伴う時間の余裕もありません。

このような背景があり、今年3月に施設の一部（デイサービスとリハビリ室のフロア約500㎡）に放射能から

防御できるような設備を、10割の補助金で造っていただきました。言わば、放射能から身を守る「シェルター」が出来たわけです。

先日、この設備の起動訓練と合わせて、利用者の皆さんの「シェルター」への移動訓練・物品搬入訓練を行いました。予め策定されていたマニュアルに添って、職員それぞれが役割分担通り、迅速な

行動がとれたと思います。一番時間がかったのは、やはり陽圧装置の起動と放射能除去装置の作動訓練でした。放射能から身を守るため、完全防備で向かうため、暑い機械室の中で悪戦苦闘したようです。今後も何度となく訓練を行い、より迅速で安全な行動がとれるようにしたいと思います。



設備全景



全員シェルターに移動し点呼



機械室内部（陽圧装置の起動訓練）



籠城に備えての非常食の搬入



玄関での放射能除去装置の作動訓練

「ねくすと」のびざやき

●サービス等利用計画書って一体何？

福祉サービスを利用する全ての方に「サービス等利用計画書」が必要となりました。平成27年3月31日迄に作成しなければならぬなんて：さあ大変!!

本人・家族と向き合い、福祉制度の中で格闘し、いろんな関係機関に助けを求め、なんだか訳のわからぬ状態の中、「ねくすと」が発足して約1年、これから福祉サービスを利用したい人、既に福祉サービスを利している人全員の「サービス等利用計画書」の作成を終えたところです。

がしかし!!
ほっと一安心する暇もなく、モニタリングだ、新規の相談依頼だ、とめまぐるしく日々は過ぎ、己に向かって「落ち着け、落ち着け」と繰り返す毎日。

仕事を終え、帰路に向かい走る車の中で、その日会って話をした利用者さんやご家族の顔や声を思い出します。

自分たちが話した内容が、本人やそのご家族にとって喜んでもらえるものだったのか、自分たちが立てた「サービス等利用計画書」が真に役に立つのだろうか…

正解や答えが出にくいこの仕事で、敵は「妥協」の2文字。そして最大の敵は自分かも。
スキルの向上を求め、戦いの日々は更に続く…



笑顔が合図

「さざなみ」では、月に一度利用者さんと一緒にお菓子作りをしています。

季節を身体いっぱい肌で感じてもらい、自分で作る喜びや達成感なども味わっていたきたいとの思いから、事前に担当職員がレシピをつくり、それを普通食、刻み食、とろみ食など、それぞれにアレンジし

創意工夫を行い、食べやすさを追求した試作から始まり、安心して全面的配慮した上で意見交換を



計量中、あともう少し!



やけどに注意、そっと焼いています

行い、当日に備えます。

当日は、衛生面に十分配慮し、ホワイトボードにどんなお菓子を作るのか、だれがどの工程に係わるのかなどを掲示し、お菓子作りが始まります。

普段、創作活動やレクリエーションなどへの参加のない方でも、この日は興味津々。「やってみたいけど、いいの?」と積極果敢にチャレンジ。計量やくはんをする人、焼く係の人など、怪我のないように努め、楽しんでいただき、フロアーに甘い香りが漂い出すと、緊張感がほぐれ笑顔に変身。できあがりの合図となります。



おいしいクレープの出来上がり

楽しみって大切！

夢楽の郷では、4つのクラブ活動があります。私が担当させてもらっているのは絵手紙の会です。現在月二回、男性3名、女性10名で毎回楽しく賑やかに活動しています。今は季節の花、風景、野菜の塗り絵をしています。どれもお手本の色見本があるので花びらや葉っぱの色で悩むことはありません。



皆さん一生懸命塗ってられます



季節の花

風景は難しいわ～

お手本の花は一色では塗っておらず何色かの色を重ねて塗っているのです、その色をだす為に皆さん何色もの色を重ねて工夫しておられます。時には席を立てておられます。時には席を立てて色の配色につ

いて話し合いをされたりしています。

塗り絵は単純な作業に見えますが、ストレス発散やリラクセス、集中力を高めるなど効果があります。お手本をしっかりと見る、色を塗る順番を考え手先を動かし集中して取り組むことは脳の活性化につながると言われています。

出来上がった作品を見せ合いながら話もはずみ、塗り絵を通してコミュニケーションも取れます。その日出来なかったところは皆さんお部屋に持ち帰って、二週間後のクラブで見せてください。いきいきとした表情で「こんなになつたよ」「難しかったわ」「失敗したからもう一枚挑戦させてください」など、はにかみながら作品を見せてください。私はその笑顔がとても好きで、皆さんの作品の上手さに驚いています。どっちがお手本かわからないくらいです。

私は絵手紙の会に参加させて頂く中で、高齢者の方についてまでも健康でいきいきと暮らして頂く為には生きが



配色について相談中です

い・楽しみは大切だと思いましたが。塗り絵は色鉛筆があれば簡単に取り組むことが出来ます。塗り絵に興味がない方も「やってみるとすごく楽しい。あつという間に時間がたつよ」と言われます。

生きがいや楽しみは前向きに取り組もうとする中で見つけていくものだと皆さんを見て感じました。これからも一緒に楽しい時間を過ごし、健康で生きがいをもって暮らせるようお手伝いをしていきたいと思えます。

木村紀子

笑顔の絶えないお菓子作りを通して 楽しく実践する認知症ケア

「上手にできたね、おいしい！」と入所者の方の声
が響いています。

詔光の里では、定期的に入所者の方と職員が一緒にお菓子作りを行っています。六月のこの日は皆で「フルーツロールケーキ」を作りました。生地の下ごしらえや成形、盛り付けなど皆で手際良く作りました。

このようにお菓子を作ることは人間の五感をフル活用しなければなりません。五感を活用することは脳を

活性化し認知症の進行を予防効果が期待されています。そして、入所者間や職員とのコミュニケーションを円滑にする効果もあり、信頼関係の構築にも一役買っています。また、レクリエーションにはコミュニケー

ションの活性化や生きがいの創出によって入所者の方の生活の質（QOL）を向上する働きもあります。今後、身近な活動を通じて、専門性を見出しながらの認知症ケアを実践すること

で、入所者の方との日々の関わりを大切にしていきたいと思っています。



果物入りのロールケーキ
らしいわよ

今日は何を作るの？



見て、見て、
彩り良く
きれいに
できましたよ

いやしの館 2大イベント

いやしの館では、夏は「そうめん流し」、冬は「お蕎麦（傍）の会」の2大イベントがあり、昨年の12月は、お蕎麦（傍）の会を開催しました。

ボランティアの方々にご協力して頂き、そば打ちから始められ、厨房では、おでんや天ぷらを用意して頂きました。

お食事の後は、皆さんお待ちかねの出し物の時間ですが、今年「最初で最後かもしれない 地域密着型劇団「劇団いやし」と称し、



熱演!!「劇団 いやし」

職員による寸劇：『西川津の桃太郎』を行いました。脚本・演出など全て職員の手作りです！出演者も職員に加え2名の御利用者様にも御協力して頂きました。

今回は、御利用者様、御家族様、運営推進委員の方々、ボランティアの方々、法人他施設職員等、多数の皆様にお越し頂き、笑いあり涙ありと大盛況（？）の内に会を終える事が出来ました。

次回の予定はまだ決まっていますませんが、前回よりも喜んで頂ける会になるよう職員一同協力していきたいと思っています。



「そば処
いやし」の
大将 石田さん...



打ち立ての美味しい
お蕎麦で賑やかに会食

継続は力なり

デイサービスきらめきでは、口腔機能向上プログラムを開始して、10年となりました。平成24年9月から参加されたUさんは、90歳で食事によってムセがみられ、またメニエル症状の経験から弱気さみ。複式呼吸も上手くできず、咳払い練習も弱いしいご様子でした。Uさんのプログラムとして口腔体操の他に、3回のがい時、うがい水をついて口に含み頬に力をつけてるようにブクブクとしてから吐き出します。その後、「あ〜あ〜あ〜」と長く発声してもらいさらに咳払いの練習等々をします。



今日も休まず口腔ケア!!

92歳になられた現在のUさんは、以前は力強く出来なかつた咳払いも今では迫りまで感じられるほどです。口腔ケアにて粘調痰もすっかり除去でき、ムセがなくなり、週3回のデイサービス中とても素敵な笑顔を見せられます。「毎年、風邪を引くのに昨冬は引かなかつた。」と喜んでも頂きました。

口腔機能プログラムで成果を上げるポイントは継続です。今日も素敵な笑顔が増えるように取り組んでいます。



美味しいお食事を楽しめます!!

利用者様の笑顔を見続けるために...

『また来てね』そんな一言が私たち「ねぎらい」スタッフの原動力になっています。

対象は高齢の方はもちろん、障がいをお持ちの方もいらつしゃいます。そして業務内容も入浴介助・オムツ交換・更衣などの身体介護、買物・調理・掃除などの生活介護、受診付添や外出支援と多岐にわたります。

利用者様が、いつまでも住み慣れた地域で過ごせるようお手伝いさせて頂いています。スタッフは一人で支援に行く責任の重さを感じ



丁寧な掃除を心がけています!



楽しい会話も大切な時間です

ながらも、やり甲斐のあるこの職務に従事しています。この6月より「ねぎらい」に初の男性ヘルパー（しかもインターン！）が加わりました。より一層、訪問看護・居宅介護支援・福祉用具等と連携し、介護保険・自立支援・有償サービスと利用者様のニーズに合う、幅広いサービスを提供していきたいと思ひます。

『また伺いますね』と、笑顔で今日も利用者様のお宅を後にします。

支えがあって看護の仕事が出来ています



入社して四年になります。初めは、いやしの館で勤務していましたが、子供が幼稚園に入園したことで継続就労が難しくなり、訪問看護ステーション暖心に移動させいただきました。移動にあたって、子供が急病になった時等に職場や利用者の方に迷惑をかけるのではないかと不安がありました。が、職場のスタッフに、悩みや不安を話し、聞いていただいたことで、一歩進む勇気をいただきました。

女性の社会進出が勧められる中、育児等の理由で離職し、復職のタイミングを失っている女性達は沢山

ると思います。私自身、看護師の仕事がとても好きで利用者の方と接すると元気をいただきます。子育てや家事も自分の大切な役割ですが、自分自身の仕事に対するやりがいも大切にしたいと思っています。しかしながら、それをかなえる為には、家族や職場の理解や支えが必要不可欠です。こんな自分でも役に立つのだろうかと思う時もあります。が、利用者の方から、「また来週も来てほしいよ。」と言って頂くとても嬉しくなります。

職場の方や利用者の皆様、家族の支えや理解があつてこそ、働けていることに感謝し、私の子育てや仕事へのパワーに変えていけるように、今後も頑張りたいと思います。



体調はどうですか？



よく動いてますね

渡邊佳世

ケアマネ奮闘記

ナイスでは、今年の4月より新たな職員(ケアマネ)を迎えスタートしました。

私たちケアマネの仕事は、介護を必要とする人と、福祉・医療・保健のサービスを結ぶ『架け橋』となる役割を担うとも言われています。そのためケアマネの仕事に就くと、利用者様や家族様だけでなく、各サービス事業者、市役所、病院、民生委員、施設職員など、日々様々な分野の人達と関わる事になります。



電話でのご相談にも応じます

そのような中でも、新しい利用者様のお宅に初めて訪問する時や、入院中の利用者様の退院後の生活について相談する病院でのカンファレンスに参加する時などは、新人のケアマネでなくとも緊張する時間と言えます。

時間に追われるような日々ではありますが、利用者様や家族様からいただく温かい言葉に励まされ、ケアマネそれぞれが自分の中に仕事のやり甲斐を見出し、これからも頑張りたいと思います。



ケアプラン等の作成を行います

地域における保育園の役割 — 中学生との交流を通して —

「園児との関わりを通して生徒達が思いやりやいたわりの心を学習する」という趣旨のもと、湖東中学校からの依頼を受け、平成十一年度から中学生の「保育実習」、「職場体験」を実施しています。

中でも「保育実習」は、自分の希望として参加する「職場体験」とは違い家庭科学習



お姉ちゃんと電車ごっこ。GO! GO!

「子ども達が自分に甘えてきてくれて、かわいかった。」保育園の先生達の姿を見て子ども達との関わり方が少し学べた気がする。」などの感想が聞かれます。年によっては、自分達で作った玩具を持参して遊ぶ交流もありましたが、「自分達で作った玩具で子どもたちが楽しそうに遊んでくれたことがうれしかった。」「作った玩具について保育園の先生からアドバイスをもらえて勉強になった。」といった感想が聞かれました。感想を聞きながら、生徒



やさしく遊び方を教えてくれるお兄ちゃん

達は自分達の関わりが子ども達を楽しませてくれるという満足感を感じたり、「お兄ちゃん、お姉ちゃん。」と慕ってくれることへの喜びを感じたりしているのではないかと思います。そして、このことはわずかながらでも生徒達の自己肯定感につながっていくようにも思います。



手作りボーリング遊び。お兄ちゃん、お姉ちゃん達が応援してくれます

久しぶりに成長した姿を見てうれしく感じ、当時は懐かしみ思い出話をしながら将来の夢を聞いたりするのは、楽しみな時間でもあります。

近年少子化が進み、地域社会における人間関係が希薄化する中、多くの人と触れ合う機会も少なくなってきたですが、こうした実習の場は、青少年の成長の一助となるのではないかと思います。同時に地域における保育園の役割の一つと捉え、今後も積極的な受け入れを継続していきたいと思えます。

保護者、地域の方々と共に 子どもの育ちを支え合おう、喜び合おう

しらゆり第2保育園では、地域とのつながりや保護者との連携を大切にしながら、子ども達の育ちを支えることを大切にしています。

昨年度から実施している「しまね子どもをたばこから守る会」の方が行っている『禁煙教育』もその一つです。この会の中心メンバーに保護者の方がおられ、3・4・5歳児のクラスの子どもを対象に、手作りの人形を使つての劇をして下さっています。



禁煙教育「タバコはダメ。絶対ダメ!!」「煙を吸うのもだめだよ」

子ども達に伝わりやすいように各年齢ごとに合わせた内容で、試行錯誤しながら工夫しておられる姿に敬服しています。子ども達は、「タバコは、絶対駄目だよ!」「お父さんに教えてあげよう!」など禁煙に対して楽しく学ぶことができ、園としても感謝の気持ちでいっぱいです。子ども達の健康な身体作りの為に、園と保護者の方とが一緒に頑張って取り組むことの大切さを改めて感じています。

また、毎月1回、地域のお年寄りの施設『万福の家』のおじいさん、おばあさんとの交流もしています。実はこの交流も保護者の方からの紹介でした。加えて週1回来てくれている島根大学のボランティアグループ『はらっぱ』との関わりも子ども達はいつも楽しみ



「万福の家」のお年寄りたちと交流

魚だね!!

たいたい

に待っているようです。このような様々な人との関わりは、「人と関わるって楽しいな」「優しくしてくれて嬉しいな」と子ども自身が感じることで、幼児期の大切な心の育ちを支えているのではないかと思います。

そして、子どもが楽しみにしている『夏まつり』も、保護者、島大生の方々の協力のもとに開催しています。しらゆり第2保育園の夏まつりの舞台上に欠かせない保護者さんや島大生さんの出し物は、日頃からの交流の賜物ではないでしょうか。

その他、奉仕作業では、たくさん保護者さんのお手伝いで、保育者だけでは力が及ばない所もいつもきれいに



保護者の出し物
「フルート演奏」
優雅な時間…



島大生のお手伝い。お祭りでの買物

お肉
ください

どうぞ

していただいても助かっています。作業を整備してもらった芋畑で育てたさつま芋は、園での食事に出てくることとはもちろん、家庭に持ち帰ってもらいます。「お母さんと一緒にスイートポテトを作つて食べたよ」「焼き芋にしたら美味しかった」という声もたくさん聞かれ、「一緒にクッキングを楽しむなど親子の触れ合いの機会にも広がつてなつていきます。」

加えて『環境教育』の一環として、平成20年から行っているペットボトルのキヤップ収集は、現在で総量308.6kgで、世界の子ども達のポリオワクチン接種約86人分になっています。これも保護者の方々のご理解と協力で積み重ねてきた大切な歴史だと思います。

今後、子ども達の為に、保護者の方々や地域の皆さんと一緒に様々な事業や保育に取り組み、一人一人の子どもの育ちを支えていけたらと思っています。



盛り上った職員の出し物
「野菜レンジャー」

保護者の気持ちに寄り添う保育

今年度、乳児クラスの子どもたちは、大半が新入児で保護者にとって初めての子どもさんでした。私たち保育士は、保護者に、子どものかわいい姿や成長したところを伝え、子育ての喜びや楽しさを共有していきたいと思いました。

その中で、保護者は、子どもを可愛いと思う一方で、仕事をしながらの離乳食作りや食事に関して、又家庭で我が子とどう関わっているのか分からないなど、真剣に子育てに向き合うがために、子育てに不安やしんどさ、悩みを抱えておられる方が多いことに気づきました。そこで、次の3つをテーマに参観日をおこないました。

「**こんなにある親子で楽しく遊べる「ふれあい遊び」**」

親の膝の上に子どもを座わらせ、親子で向き合い、抱き上げたり、揺れたり、キューっと抱きしめたりして親子で触れあう遊びをたくさん紹介しました。目と目を合わせて微笑み合い、笑い声が出るほど喜ぶ親子の姿を微笑ましく感じました。後日ノートの、「家庭でも遊びました。子ども

がとても喜んでいました。」と多くの方が書いておられました。休日に行ったり特別何かをしたりすることではなく、子どもと目と肌と心を通して触れ合うことが大切であることを、体験を通して感じてもらったことが、私たちの役割の一つだと感じました。

「**離乳食講座 ～手軽にできる離乳食安心Q&A**」

離乳食講座では、あらかじめ、食事に関してどんな悩みを抱えておられるのかアンケートをとりましたが、自信を持って答えられない質問もありました。そこで、給食担当職員は、



穏やかな気持ちで…

離乳食について専門的な知識を深めるために、離乳食教室に参加しました。そこで、母子手帳と同時に配布される、『はん手帳』の存在も知りました。その手帳には、月齢別の離乳食の進め方や量の目安、大人の食事のとりわけや冷凍保存の方法、味付けのポイントなど、保護者が抱えている悩みのヒントがたくさんあり、その手帳を活かしてほしいと話しました。

また、離乳食を試食しながら、普段なかなか顔を合わせることが少ない保護者同士が、担任や給食担当者と一緒に、日々の子育てや、悩みを話し合う場を提供できたことはとても良かったと思います。

「**大塚啓子先生の子育て講座**」

子育て講座では、ふるまい推進指導員の大塚啓子先生に講演をお願いしました。子育てをする上で、自己肯定感と人との関わりを大事に育んで欲しいこと、そのために、どのような関わりをしたらよいか等、具体的な事例をあげてお話して頂きました。また、2歳の子ども達に絵本の読み聞かせもして頂きました。講演中、一生懸命メモを取り、涙を流して聴いている保護者もおられました。感想には、『とても考えさせられた。



子どもとの触れ合いを大切に…

ふれあいを大事にした『今、私がリアルに悩んでいること』で、本当に良かった『読み聞かせがとても良かった。家でも読んでやりたい』等、参加された保護者の心に響く講演会になりました。

「**〈おわりに〉**」

今回のことを通し、私たち保育士は、保護者の気持ちに寄り添い、どんなことを感じ悩んでおられるのか、私たちに何を求めておられるのか、日々気づきの心を持ってキャッチしていかなければならないと再認識しました。そして、保育士として、話し方、言葉の選び方、子どもたちへの関わり方等、今まで良いと思ってきたことも振り返り、見直していきたいと思えます。これまでの経験や知識に満足することなく、いろいろな分野の研修会に積極的に参加し、学んだことを共有し、互いに資質を高め合い、私たち一人ひとりの姿勢が、保護者や子どもたちの安心につながり、信頼できる保育園となるよう努めていきたいと思えます。

保育園って楽しいね

〜マレーシアの子どもたちと一緒に過ごそう〜

「グッドモーニング！」
ひめゆり2組の朝はこの言葉
が始まります。絵本の中の
リンゴを見ては「アップル」
と片言の英単語を言ったり、
びっくりした時には両手を広
げてオーバーなりアクション
で「ワーオ！」と言ったりと
とてもかわいい2歳児の子ど
もたちです。

というのも、5月にマレー
シアから子どもさんが入園
してきたのです。とにかく、
「笑顔で名前を呼んで自分の
知っている英単語を並べてみ



みずたまり、
きもちいいね。

よう」「少しオーバーなりア
クションで伝えるようにしよ
う」と担任間で話し合い、心
掛けました。知らない国で言
葉もわからないところでの生
活は不安でいっぱいだったと
思います。少しでもその不安
を取り除くことができるよう
に、笑顔で関わるようにしま
した。

私たちのこうした声掛けや
身振りをクラスの子どもたち
が見たり聞いたりしていて
「グッドモーニング！」と
言ってみたり、両手を広げて



いっしょに行こう。
坂道、ちょっと
こわいね〜。

「ワーオ！」大げさな表現を
している子どもたちです。

保護者の方からは「家でも
オーバーに両手を広げていま
すよ。」「今から英語がわかる
ようになるといいな。」とお
たよりノートで知らせていた
だいています。

本児は2歳児ですが英語と
マレー語をうまく使い両親に
自分の気持ちを伝えたり、ま
た、両親の話を理解していま
す。私たちの片言の英語でも
理解して「イエス」「ノー」
と返事をしてくれます。

ある日、散歩に出かけた時
のことです。子どもたちが「ふ
ねだ！ふね〜！」と言ってい
たので「シップ（舟）シップ
（舟）！」と本児に声をかける
と「ノー、ボート！」と冷静
に答えました。日本語では大
きい船も小さい舟も同じ言葉
ですが英語は使い分けること
を教えてくれました。

また、雨の日には水溜り
で遊んだり、砂遊びをしたり、
子ども同士で追いかけてっこを
したりと保育園での生活に少
しずつ慣れて声をあげて笑
い、「楽しかったね。」と声を



散歩では堀川遊覧船に「おーい」「こんにちは〜」と言いながら
手を振ったりしています

かけると笑顔でうなずいて
います。

当初は受け入れることに不
安がありました。が、本児や保
護者に対して配慮してきた
ことが、保護者との信頼関係
につながり、私たちの自信に
もなりました。また、子ども
たちの様子から、いろいろな
人との交流は子どもたちが成
長していくうえで重要なこと
だと改めて感じました。

これからも一人一人を認め
ながら安心して楽しく過ごせ
るような保育を心がけたいと
思います。



永年勤続 (20年) 視察研修報告

オーストラリア研修旅行記

光洋の里…岩田 薫
 光洋の里…安倍瑞恵
 しらゆり千鳥保育園…堀内学子
 希望の園…田村知子

11月の半ば、少し肌寒さを感じながら出雲空港から旅が始まりました。羽田、成田と乗り継ぎ出発してから18時間かけゴールドコースト空港に着きました。日本とは季節が反対の初夏。キラキラと眩しい陽射しに心地良いさわやかな風が吹き抜け、長時間のフライト疲れも吹き飛びました。

「オーストラリアって こんな国」

オーストラリアは、日本の国土の約20倍あり、広大な国土を持つオーストラリアは世界で6番目に面積の大きい国で、地球上でもっとも小さな大陸でもあります。日本の真南に位置しているため時差は1時間ほどです。

ヨーロッパからの最初の入植は1788年オーストラリア最大の都市シドニーから始まりました。これを記念して1788年が建国の年となっています。

オーストラリアの魅力は自然に恵まれているところです。国全体が豊かな自然に生まれ、全国に数多くの公園があります。



140カ国からやってきた移民で豊かになった多民族、多文化国。1966年から大規模な構造改革きっかけに経済、産業はめざましい発展を遂げています。特に情報通信、技術分野は急成長を続けておりインターネットを利用した産業の割合はアメリカの次に高くなっています。

いつも陽気でフレンドリーなおオーストラリア人は、明るい天候と自然に恵まれた国を「ラッキーカ

ントリー・幸運な国」と呼んでいます。

しかし残念なことに近年は、南極上空付近のオゾン層破壊によって紫外線による皮膚炎、皮膚癌の患者数が年々増加しており、政府は国民に対し、外出の際には紫外線対策を怠らないように警告を促しています。紫外線による皮膚癌になる確率は日本の6倍と高くなっているそうです。

「アイルオブプリラーニングセンターを訪れて」

私たちが訪れた「アイルオブプリラーニングセンター」は、ゴールドコーストの中心地サーファーズパラダイスから数分の距離にあり



子供たちの作品であふれた壁面



クリスマス前に飾られた空間

15ヶ月から5歳までの子供に質の高い教育とお世話を提供しているとの事でした。資格所有のプロの教育者が子供たちに遊ぶことから学ぶことの楽しさを十分に配慮して指導され、年齢に応じてバラエティー豊かなアクティビティを用意しておられ子供たちのためになる初等教育を作り上げること力注いでおられるとの事です。

定員は86名で開園時間は7:00～18:00。保護者の送迎で登園時間は自由。1日の人数把握は月単位の予約制にしているのがある程度把握できるようです。利用料は1日80～84AU\$一部は市が負担するので、全額負担はほとんどないようです。

センターの入り口には皮膚癌対策

策として日焼け止めが設置してあり「紫外線」に対する意識の高さが感じられました。

まず最初に厨房を見させていただけましたが、子供たちの食事86名分を一人の調理員で作っておられると聞き驚きました。丁度10時のおやつ時間で、この日は果物と野菜スティックを提供しておられました。また、アレルギーや嗜好、宗教的な理由で食べることが出来ない子供たちの名前を食器に付箋を貼り明確にしておられました。

食事についても小さなクラスの子供たちはナイフなど持たせられません、スタッフが手伝いパ



ほのぼのとした雰囲気

ーを塗る程度。少し大きなクラスでは指導者が見守り、自分たちで盛り付け等を行っているそうです。ここでは食事のとり方について考え自分のことだけでなく、後の人のことも考えて多く盛つたりしないようにと考えておられました。

このセンターでは現在2名の軽度の障がい児の受け入れを行っておられました。個々の状況にもよりますが、医療的、学習障害などのニーズの高い子供の受け入れに対しては政府に申請しスタッフを増員してもらおうとの事でした。現在も2名増員しておられるそうです。

教室も見させていただきましたが、どの教室も子供たちの手作りの作品がたくさん飾ってあり、ほのぼのと暖かく楽しい雰囲気でした。

多民族国家であり、文化・宗教行事など違うため十分配慮して保育がなされていきました。言葉の違いはありますが、基本的には英語で話しているそうです。

伸び伸びと遊びまわる子供たちの姿は世界共通。突然やってきた外国人にも小さくかわいい手を振ってくれたことがとても愛らしく感じました。



シーワールドにて



「ゴールドコーストの 市内視察」

ゴールドコーストは、クイーンズランド州南東部に位置し、オーストラリア最大の観光保養地として世界的に有名です。初夏ということもありとても過ごしやすくと感じました。

中心部のサーファーズパラダイスはショッピングモールなどすべてが徒歩圏内にあり2、3回周れば地形を覚えてしまうくらいでした。海岸に向かえば北から南まで57kmにわたって広がる海岸線が見え、サーファーがたくさんいました。

到着して二日目「シーワールド」に行きました。この日は平日であるにもかかわらず、沢山の家族連れやカップル、アジア系の観

光客が遊びに来ていました。

湾内の広大な敷地に広がる「シーワールド」はイルカショーやちょっとした絶叫マシーン、モノレールがあり、それぞれ思い思いに楽しめました。

3日目はパラダイスコントロリーに行きました。ここではコアラと対面。コアラを抱いて記念撮影をしました。カンガルーも放し飼いにしており間近で見ることが出来ました。

コアラも沢山いましたが、どのコアラも眠そうでほとんど動きがなかったのが残念でした。

馬のショーや羊の毛刈りショーも見学しました。スタッフが面白おかしく動き回り楽しかったです。

また、観客のほとんどが中国、韓国の団体旅行者でわいわいがやがやとても賑やかでした。どこの国



パラダイスコントロリーにて

に来ているのか分からない位に…でも、身近に動物たちに触れあい癒されたことが今でも思い出されます。

それぞれの観光地を視察後は主に市内を回っていました。オーストラリアは物価が高く日本の1、5倍位あったと思います。しかし、多民族国家であり食べ物には色々ありました。どれも美味しくいただきました。

小さい町でしたので最終日にはどこに何があるかなど殆ど分かるようになっていたほど、この4日間ゴールドコーストの町を満喫できました。



動物たちとふれあう



「研修視察を終えて」

ゴールドコースト滞在4日間様々な体験が出来ました。様々な民族、宗教に基づく価値観をもつ人間同士の結びつきに私たちが見習うべきものを感じました。

今回このような海外視察研修の機会を与えていただいたことに私たちは感謝の気持ちでいっぱいです。異国の地で夢のような4日間を経験し、日常生活でのリフレッシュがどんなに大切かを感じる事が出来ました。4名とも職種は違いますが、今後も職務に真摯に向きあい誠実に利用者と関ると共に、自身の心身の健康にも配慮しながら、今回の視察研修を日々の生活に活かしていきたいと思えます。

社会福祉法人 しらゆり会

第一種事業

第二種事業

公益事業

(注)各施設の記載順は社会福祉法に定める事業の順とした

統括事務局 松江市山代町 934-5 TEL.0852-21-0789 FAX.0852-27-6985

社会福祉法第2条 第2項

第1号	生活保護法に規定する救護施設	救護施設 泉の園 松江市矢田町 472 TEL.0852-24-3512 FAX.0852-27-6987
第2号	老人福祉法に規定する特老、軽費老人ホーム	特別養護老人ホーム 詔光の里 松江市山代町 934-5 TEL.0852-31-4165 FAX.0852-27-6982
		特別養護老人ホーム いやしの館 松江市西川津町 733-1 TEL.0852-27-0081 FAX.0852-27-0071
		軽費老人ホーム ケアハウス 夢楽の郷 松江市山代町 933-9 TEL.0852-31-9036 FAX.0852-31-9038
第4号	障害者総合支援法に規定する障害者支援施設	障がい者支援施設 希望の園 松江市山代町 934-10 TEL.0852-21-0791 FAX.0852-21-2829
		障がい者支援施設 光洋の里 境港市渡町 2480 TEL.0859-45-5400 FAX.0859-45-5411

社会福祉法第2条 第3項

第2号	児童福祉法に規定する保育所	児童福祉施設 しらゆり保育園 松江市古志原 6-19-36 TEL.0852-22-3803 FAX.0852-60-7132
		児童福祉施設 しらゆり第2保育園 松江市西持田町 336-5 TEL.0852-23-3340 FAX.0852-60-7131
		児童福祉施設 しらゆり第3保育園 松江市矢田町 484-6 TEL.0852-26-2356 FAX.0852-60-7130
		児童福祉施設 しらゆり千鳥保育園 松江市北田町 188-3 TEL.0852-21-3440 FAX.0852-60-7135
第4号	老人福祉法に規定する事業	老人・障がい者ホームヘルプサービス事業 ねざらい 松江市山代町 934-5 TEL.0852-31-3328 FAX.0852-27-6982
		老人デイサービス事業 きらめき 松江市山代町 934-5 TEL.0852-31-3370 FAX.0852-27-6982
第4の2号	障害者総合支援法に規定する障害福祉サービス事業	就労継続支援A型事業 ワークセンター島根 松江市矢田町 250-110 TEL.0852-22-4105 FAX.0852-31-1167
		生活介護事業 さざなみ 境港市渡町 2480 TEL.0859-45-5407 FAX.0859-45-5411
		共同生活援助事業 互助の館 松江市東津田町 1324-1 TEL.0852-67-3500 FAX.0852-67-3500 松江市矢田町 484-6 TEL.0852-31-8313 FAX.0852-31-8313
		相談支援事業所 ねくすと 松江市山代町 934-10 TEL.0852-21-5080 FAX.0852-21-2829

社会福祉法第26条 第1項

施行令第4条	介護保険法に規定する居宅介護支援事業 他	居宅介護支援事業所 ナイス 松江市山代町 934-5 TEL.0852-31-3288 FAX.0852-27-6982
		訪問看護ステーション 暖心 松江市山代町 934-5 TEL.0852-28-0906 FAX.0852-27-6982

しらゆり会では、日頃の活動報告や活動予定をホームページにて紹介しています。
下記のホームページアドレスからアクセスしてください。

時代のニーズに応える、新しい社会福祉づくりに取り組んでいます。

<http://www.sirayurikai.or.jp/>



写真 しらゆり第2保育園：グリーンカーテン

しらゆり第2保育園では、グリーンカーテンとしてゴーヤやなた豆、昼顔などの植物を育てています。子ども達は、いつも張り切って一生懸命水やりをしてくれます。また、今年もゴーヤがたくさん収穫できました。オレンジ色に変わった三日月形の小さいゴーヤを「あかちゃんみたい…。」と大切に手のひらにのせて友だちに見せる子、たくさん取れたゴーヤを数える子など、子ども達のお話しが今日も弾みます。そして「給食先生にもっていこう!」と言っている子もいます。このゴーヤが、美味しい昼食になることを子ども達はよく知っているんですね。

編集後記

今年の夏も連日30℃を超える猛暑日が続く、熱中症や食中毒などが心配されました。また、今年は終戦70年の節目の年でもあります。しらゆり会では、利用者の皆様や園児、保護者の皆様また、地域の皆様の、現在から未来永劫に至るまでの「平和」を職員一同心から願いたいと思います。そして、変動していく国の制度や社会情勢を的確に捉え、それぞれの持ち場で、皆様のニーズに応えながら、それぞれの役割を果たすべく、これまで以上に日々努力していきたいと思っております。

最後になりましたが、発刊に際しまして、お忙しいところ原稿をお寄せいただきました皆様方に心からお礼申し上げます。

しらゆり



しらゆり【第31号】平成27年10月発行

- 発行人／理事長 国頭正治
- 編集・発行／社会福祉法人しらゆり会
- 制作／株式会社計画設計工房

※掲載の文章、写真などを無断転用・引用することを禁じます。
また、掲載の氏名、写真は承諾を得て掲載しています。